

令和5年度 化学系学協会東北大会 英語化について

昨今の国際化・グローバル化が大学等を取り巻く研究環境においても重要視されております。平成27年3月に開催されました日本化学会の春季年会より、「年会の英語化」が始まっております。

このような背景を受けて、平成27年度より東北支部では支部大会（東北大会）での英語化を導入しております。

一方、拙速な英語化導入により、東北大会本来の目的である研究討論や情報交換の実を挙げることが阻害されたり、参加者数の減少を招いたりすることがないようにすることも大切と考えます。

英語化による教育的効果も勘案して、引き続き今年度東北大会での英語化を以下のように試行したいと考えております。

1) セッション・シンポジウム・コロキウムについて

- ・講演要旨および口頭発表はいずれも使用言語を英語とする。
- ・発表媒体（PowerPoint）は英文表記とする。
- ・座長は英語での司会を行う。但し、討論の実を損なわない柔軟な対応を行う。質疑応答は日本語と英語を併用する。日本語による質問を受け付けるとともに、院生・学生等が質問者の場合は、必要に応じて講演者に日本語での回答を促すなど、討論の実を挙げる。

2) ポスター発表について

- ・講演要旨の英語記載を推奨する。
- ・発表媒体（掲示ポスター）は英文表記とする。
- ・発表および質疑応答は、原則英語で行う。

3) 化学教育研究協議会

- ・従来通り、すべて日本語にて行う。

4) 会長講演等の特別講演

- ・講演要旨、発表媒体、発表言語は英語に統一する。

5) ポスター審査

- ・原則英語で行う。

6) 事務局の対応

- ・支部HPは、従来の日本語に加え、国際会議に対応した英語のページも開設する。また、従来通り英語導入に関するお知らせを各所に挿入していく。
- ・セッションオーガナイザー等へ講演者選出依頼を送る際に、上記項目を踏まえご案内を併記する。